

## 全国学力テストについて

### 1. 本校の学力調査結果

対象学年：6年生

	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
本 校	81.1	64.2	84.5	64.3
県平均	74.1	62.7	82.5	63.6

A問題→基礎知識を問う問題

B問題→知識の活用力を問う問題

### 2. 本校の児童アンケート回答と石川県平均との比較から

[良かった点 (今後さらに伸ばしていく)]

・失敗を恐れず挑戦している	本校→32%	県平均→23%
・学校に行くのが楽しい	本校→64%	県平均→47%
・先生は良いところを認めてくれる	本校→62%	県平均→33%
・学校のきまりを守っている	本校→56%	県平均→39%
・授業の最後に振り返りをしていた	本校→70%	県平均→42%
・授業でわからないことを先生に尋ねる	本校→44%	県平均→22%

[気になった点 (指導改善する必要がある)]

・家庭学習を1時間以上している	本校→48%	県平均→71%
・読書時間が10分より少ない	本校→54%	県平均→35%
・家で復習をしている	本校→14%	県平均→27%

### 3. 本校の児童の正答率を分析してわかったこと

- ・毎日同じくらいの時刻に寝て起きている児童はB問題の正答率が高い。
- ・友達の話や意見を最後まで聞いている児童はB問題の正答率が高い。
- ・家で学校の授業の復習をしている児童はB問題の正答率が高い。
- ・毎日2時間以上テレビゲームをしていると正答率が低くなっている。
- ・家で最低でも10分以上読書をしていると正答率が高くなっている。
- ・家の人と学校の出来事について話をする家庭の方が正答率が高くなっている。



### 4. 学力テストの問題から見えてきた課題と方向性

[国語]

- ・目的や意図に応じて、複数の内容を関係づけながら書く力が不十分である。調べて疑問に思ったことや分かったことを関係づけながら、自分の考えを明確に書くことが大切である。方策としては授業の中で、自分の考えを明確にしなが、一定の条件に合わせて書くという学習活動を組み込む必要がある。(字数制限 2文を1文にするという条件など)

[算数]

- ・基礎的な力についてはついてきているが、その知識を生活場面に活かす力につながっていない。今後は、知識に至るまでの考えをしっかりと理解させ、その考えを使って解く文章問題に数多く取り組ませる必要がある。同時に、算数科で考える楽しさやひらめきを育てるような授業が大切である。

### 5. 本校の学力向上のための基本方針

本校では、学力は総合的なものであり、授業だけでなく生活面が大きな影響を与えていると考えています。そこで、学力テストとアンケートの状況を踏まえながら、下記の5項目を重点的に指導をしています。

- ◇自尊心(自己有用感 自己肯定感)を育てる。(自尊心が高いとやる気に繋がります)
  - ・授業や体験活動での「わかる」「できる」感覚を増やして、子どもたちに自信をつけさせる。
  - ・言葉遣いの指導(ふわふわ言葉)により、学校や学級で自己有用感を高める。

- ◇わかりやすい授業を行う。
  - ・本校が算数科で行っている「教えて考えさせる授業」をさらに進める。
  - ・きめ細かな指導を行う。(少人数指導 通級指導 授業での机間巡視での指導など)

- ◇学習規律と生活規律を徹底する。
  - ・学習規律(座り方 聞き方 話し方など)を徹底する。
  - ・生活規律(あいさつ ゲーム 寝る時間など)を守るようにする。

- ◇補充学習と家庭学習を充実させる。
  - ・決められた家庭学習の時間をしっかりとする。(低20分 中40分 高60分以上)
  - ・リテラシータイムと土曜授業の内容を充実させる。
  - ・全校テストの正答率90%以上を目指して、目的意識を持ってがんばらせる。
  - ・バリ勉ノートで復習や予習に取り組ませる。

- ◇読書活動を進める。
  - ・読書冊数を増やす。
  - ・家庭で読書をする。読書時間が0分の児童をつくらない。



### 6. 鳳至の子どもたちのために各御家庭にお願いしたいこと

子どもの学力だけでなく、子どもの健康面と生活面に密接に関係する大切なお願いです。毎日、以下のことについて取り組むことで必ずよい成長につながります。

- |             |  |
|-------------|--|
| ①家庭学習の習慣    | → 決められた時間の勉強をする習慣をつけることが大切<br>(テレビ等がないところで勉強し、読書にも取り組む)      |
| ②就寝と起床時刻の厳守 | → 規則正しい生活は学力向上に直結<br>(小学生は9時間の睡眠が必要)                         |
| ③しっかりした朝食   | → 炭水化物・タンパク質・ビタミンがとれるメニュー<br>(朝食により脳内にメラトニンが生まれ、心の安定と意欲や集中力) |
| ④携帯やゲームの制限  | → 夜9時以降は保護者が管理<br>(睡眠不足・学力低下・ネット被害を防ぐ効果的な手段)                 |

残念ながら、7月に行った児童と保護者のアンケートでは、就寝時刻やゲーム時間など守れていませんでした。

教育も子育ても「徹底と継続」が大切です。①～④のお願いは、単なるスローガンではありません。どうか、全家庭で子どもたちのよりよい成長のために、ご理解の上ご協力をお願いします。

校長 高野 勝

「宿題が終わるまで遊んじゃダメ」とか「宿題が終わってないでしょ!」ではなく、「宿題が終わったら遊んでいいよ」と伝えましょう。「No!」(否定的)表現ではなく、「Yes!」の表現で伝えます。